

ブレストライト

ご購入者様へ

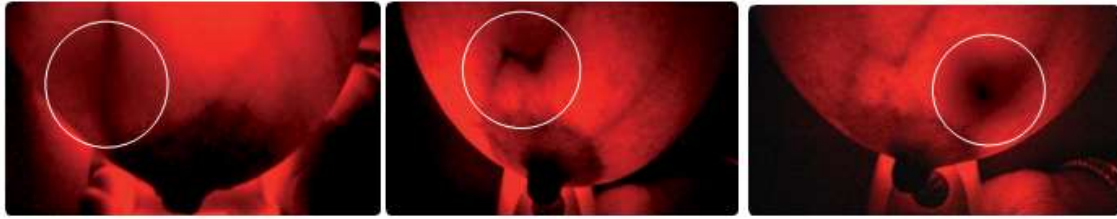
こちらのサイトは、実際に**ブレストライトをご使用される方を対象**とした、具体的な使い方・注意事項についての内容になっております。初めてセルフチェックを行う前に必ずこちらをご確認ください。記載内容以外のご質問等がございましたら、華琳株式会社までご連絡ください。

検査の準備

- 検査の前に、ブレストライトを充電してください。最初は約4時間でフル充電となります。
- ブレストライトでのセルフチェックは、鏡の前で部屋を真っ暗にして行います。周りの物が見えにくい中での検査になりますので、照明を消す前に安定した台やテーブルの上などにブレストライトを箱から出して準備してください。ブレストライトジェルが手につくこともありますので、タオル等も準備しておくとう便利です。
- セルフチェックの際は、上半身の着衣は完全に脱いだ状態で行ってください。服を肩にかけた状態等で検査すると、服の影が胸に映ってしまい、血管の影と見間違える可能性があります。
- 照明を消す前に、胸全体にブレストライトジェルを適量塗布してください。ジェルが手についていると滑りやすくなりますので、手についた際は拭き取ってください。

検査開始

- 照明を消し、ブレストライトの電源を入れます。最初は、胸の下側からブレストライトを当てて、胸がどのように見えるかよく観察してみましょう。光が当たった部分が赤く半透明になり、血管が黒い線として映ります。
- ブレストライトがしっかりと胸に密着されると、液晶画面の表示が消えます。液晶画面が映っているときは正しく密着できていないので、向き等を調整してください。
- 輝度調整ボタンを押して、胸内部の血管がはっきり見えるレベルに調整します。輝度調整は、ブレストライトを胸から離れた状態でも可能です。
- ブレストライトを動かして、胸全体をゆっくりとチェックしてください。胸の厚みにより適した輝度レベルが変わるので、きちんと血管が見えるように輝度を調整してください。
- 下から→横から→上から、などと順番にあらゆる方向から光を当ててチェックしてください。一方向だけでなくさまざまな角度から光をあてることで、胸全体をくまなくチェックできます。
- 胸の裏側やわきの下などは直接見るのが難しいので、鏡に映してチェックしてください。
- 「ブレストライト取扱説明書」の異常が疑われる影、暗い部分の写真例をよくご確認ください。



異常が疑われる影、暗い部分

検査後

- 両胸の検査が終わったら終了です。検査時間は決まっておりませんので、ご自身でご判断ください。
- ブレストライトについたジェルは、乾いた布か固く絞った布等で拭き取ってください。
- ブレストライトジェルには化粧品等で使われる成分のみを使用しております。検査後すぐに洗い流す必要はありませんが、タオルやティッシュ等で胸を拭いてからお着替えください。

その他① セルフチェックのタイミング

- ブレストライトでのセルフチェックは、触診・視診のセルフチェックと同様に、その月の月経が終わって2～3日後がお勧めです。セルフチェックでは胸にブレストライトを押し当てるので、胸が張って痛い時などは避けましょう。
- 初めてのセルフチェックは数日間続けて行くと、正しい光の当て方、ブレストライトでの胸内部の映り方、ご自身の正常な状態などがよく分かるようになります。問題なく使えるようになりましたら、その後は月に一度の定期的なセルフチェックを推奨しております。

その他② 胸の小さな方へ

- 胸の小さな方は、胸を軽く押さえてブレストライトを密着させるようにすると、正しく押し当てることができます。
- 下からライトを当てる場合は、前かがみになり直接上から胸を見るとよくチェックできます。
- 輝度が高すぎると血管を細部までしっかり映すことができないので、血管がきちんと映るように輝度を調整してください。